

新型コロナウイルス感染症 仙台市 週報

(令和3年4月26日～令和3年5月2日)

令和3年5月7日

仙台市感染制御地域支援チーム

仙台市保健所

今週の仙台市感染状況のまとめ①（令和3年5月7日）

- 仙台市では、4月26日から5月2日に判明した陽性者数を先週と比較すると**133名から106名**に減少していますが、期間中の**感染経路不明の割合は65%**となっており、国の指標のステージIV 50%を超えています。
- 人口10万人あたりの陽性者数は5月2日時点で**9.74人**となっています。
- 仙台医療圏の病床使用率は**約7割**（67%）、重症者病床使用率は**5割**（50%）となっておりひっ迫した状況が続いています。（表2）
- **N501Yの変異がある変異株**（スクリーニング検査）の陽性率は、**6.2%**（5月6日判明分まで）となっています。**N501Yの変異がある変異株は感染力が強く、国立感染症研究所の分析では、従来と比べ実効再生産数※1が1.32倍とされており海外では1.9倍になるとの報告もあります。 ※2（参考1.2）**


※1「実効再生産数」：1人が何人に感染を広げるかを示す数値

※2（第43回）東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議資料（令和3年4月28日）資料より

今週の仙台市感染状況のまとめ②（令和3年5月7日）

- 新規陽性者数の7日間移動平均値は5月2日時点で **15.1人** となっています。
- 20代から50代の働き盛りの年代の方が**7割以上（70.8%）**を占めています。
（図2、図3）
- **クラスターの発生は1件**で、専門サービス業で確認されています。毎週様々な業種・業態からクラスターが発生しています。
また、複数の陽性者が確認された業種・業態の公表は、**4件**でした。
（表3、表4）

仙台市感染制御地域支援チームと仙台市が、共同で発生状況の分析を行っています。



「まん延防止等重点措置を実施すべき期間」は
令和3年5月5日から5月11日までに延長されています。
（詳しくは次のページへ）

まん延防止等重点措置による要請内容

県民への要請(県内全域)

※仙台市ホームページより

- 不要不急の外出や移動を自粛すること
- 県外との不要不急の往来は自粛すること
- 特に混雑する時間帯や混雑する場所へは、できるだけ行かないようにすること
- 多人数での旅行は自粛・延期し、家族・友人などとの少人数の旅行も、慎重に判断すること
- 営業時間短縮を要請した時間以降、飲食店等のみだりに出入りしないこと
- 歓送迎会・新歓コンパ・飲食を伴う謝恩会や花見などの開催を自粛すること
- 感染拡大予防ガイドラインを遵守していない飲食店の利用を自粛すること
- 飲酒を伴う多人数や長時間におよぶ会食を自粛すること・会食の際のマスク着用を徹底すること、飲食を伴わない場合も注意すること
- 飲食店の求める感染防止策へ積極的に協力すること

仙台市感染制御地域支援チームからのコメント

～感染の急拡大を止めるために市民の皆様にご協力をお願いしたいこと①～

○気温も暖かくなり、屋外などに出かける機会も増える季節となりました。
屋外であっても**集団での飲食**など、人と人の距離が近くなる行動は
控えましょう！



○市民1人1人が日常生活の中で、改めて、「**マスクの着用**」や「**手洗い**」を
徹底するとともに、「**3密**」を避けてください。
空調や換気扇による**換気**や、それが設置されていない場合は**定期的な**
窓開けをするなどの対策をお願いします。



○家庭内での感染が多数確認されていますので、同居の方やご家族に知っていただ
きたいことをまとめている「[新型コロナウイルス感染症感染予防ハンドブック](#)
[\(自宅療養をする方へ\)](#)」をご覧ください。

仙台市感染制御地域支援チームからのコメント

～感染の急拡大を止めるために市民の皆様に気をつけていただきたいこと②～

- 不要・不急の外出・移動を控え、人との接触を避けるようにしてください。
- 少人数の場合でも、会話の際には必ずマスクを着用したり、マスクを外している食事の間は会話を控えてください。
(例えば、休憩時間、昼食時、喫煙時など)
- 会食、飲み会、集まっのカラオケ、イベントなど、今行くべきなのか立ち止まって考えてください。

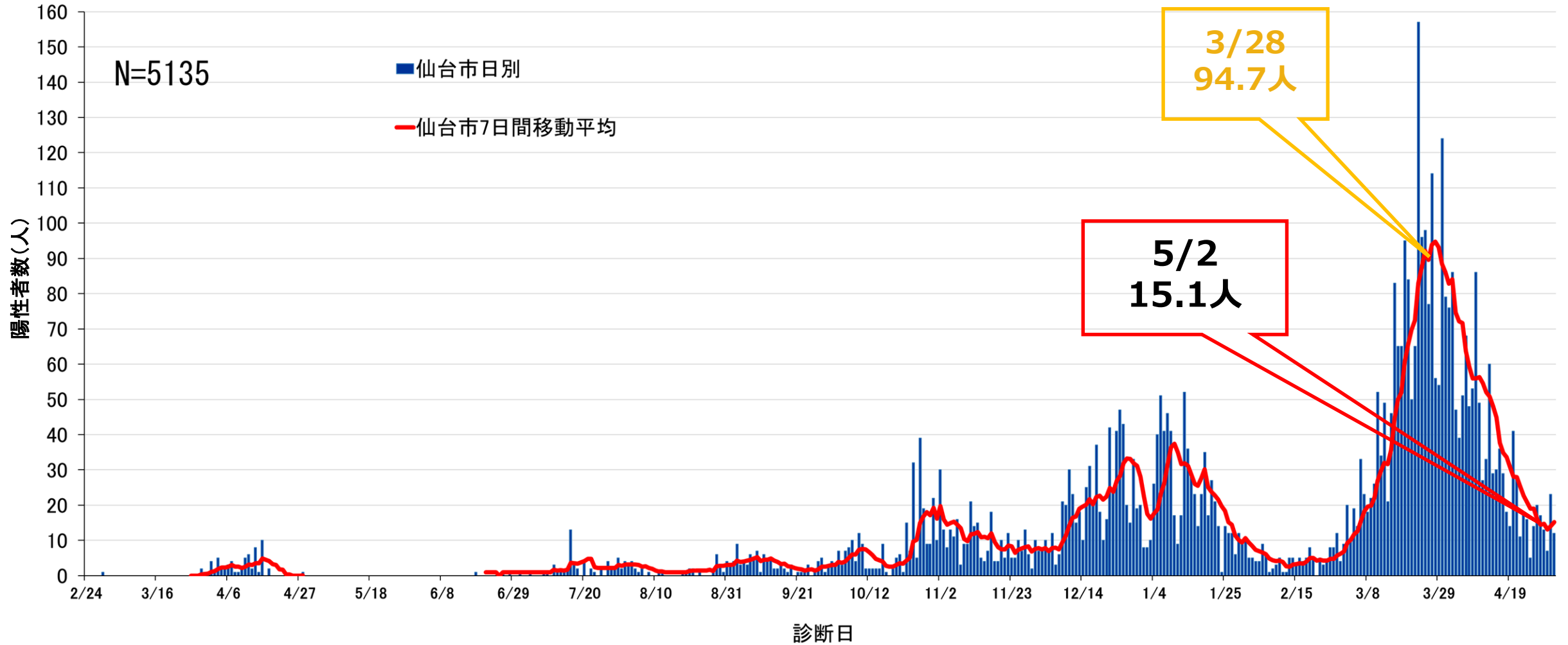
病床がひっ迫しています。今くい止めなければ、
適切な医療提供が困難になります。

皆様の行動、感染対策にかかっています！



図 1

仙台市新規陽性者数（診断日別）（令和2年2月24日～令和3年5月2日）



※7日間移動平均：6日前から当日までの7日間の新規陽性者数の平均値

図2

仙台市新規陽性者割合（年代別）（令和3年4月26日～令和3年5月2日）

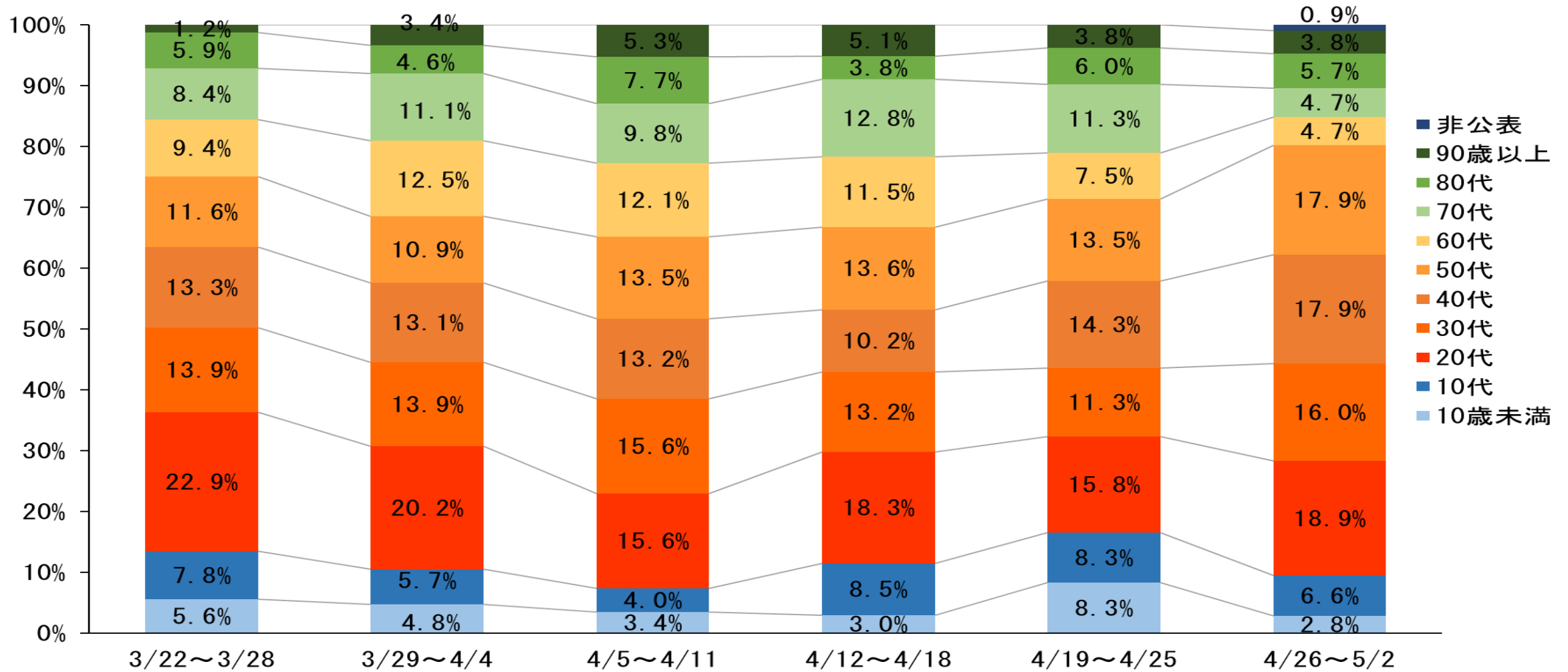
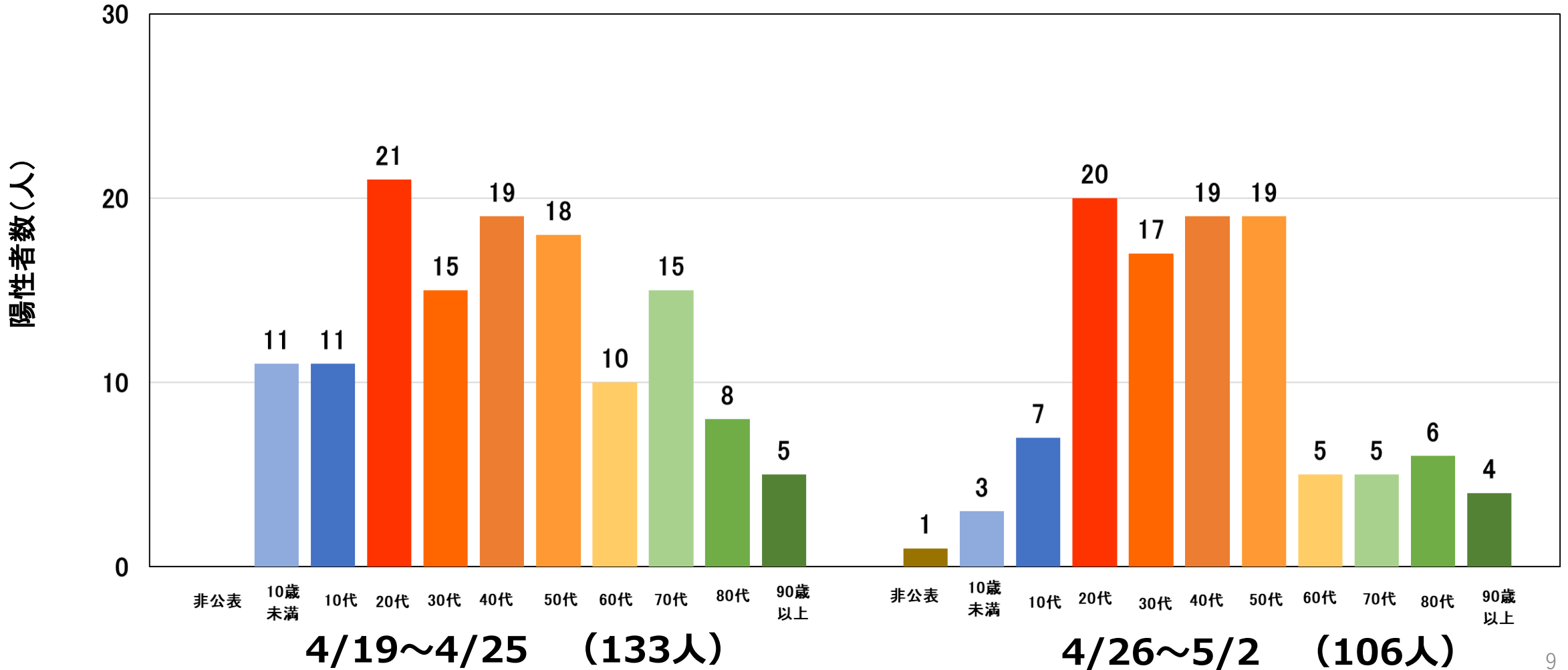


図3

仙台市新規陽性者数（年代別）（令和3年4月19日～令和3年5月2日）



【参考1】新型コロナウイルス変異株について① ※仙台市ホームページより

変異株の分類について

変異株とは？

一般的に、ウイルスは流行していく中で少しずつ変異を起こしていきます。この変異したウイルスが変異株です。変異が起こると性質の変化が起こり、感染しやすくなったりする場合があります。

N501Yの変異がある変異株について

「N501Yの変異がある変異株」は従来よりも感染しやすい可能性・重症化しやすい可能性が指摘されています。

英国で確認された変異株、南アフリカで確認された変異株、ブラジルで確認された変異株、フィリピンで確認された変異株がこの変異を有しています。英国で確認された変異株以外についてはE484K変異も伴っています。

E484Kの変異がある変異株について

「E484Kの変異がある変異株」は、従来株よりも、免疫やワクチンの効果を低下させる可能性が指摘されています。

感染予防で気を付けていただきたいこと

個人の基本的な感染予防策としては、変異株であっても、従来と同様に、3密の回避、特に会話時のマスクの着用、手洗いなどの徹底が推奨されます。

【参考2】新型コロナウイルス変異株について② ※仙台市ホームページより

◇N501Yの変異がある変異株のスクリーニング検査（仙台市衛生研究所等で検査）

(A) 陽性患者数（1/14～5/3判明分）	(B) 検査実施数（B/A）	(C) N501Y陽性（C/B）
3337件	1079件（32.3%）	67件（6.2%）

更新日(5月6日)

◇E484Kの変異がある変異株に係る確認検査（国立感染症研究所で検査）

(A) 陽性患者数 (1/21～4/21判明分)	(B) 国立感染症研究所への送付件数 (2/25～4/22送付分) (B/A)	(C) 国立感染症研究所 解析数	(D) E484K陽性 (D/C)
2974件	448件（15.1%）	448件	404件 (90.2%)

更新日(5月1日)

[新型コロナウイルス感染症変異株について\(仙台市ホームページ内へリンク\)](#)

ステージ判断のための指標

	医療提供体制等の負荷				感染の状況		
	①医療の逼迫具合 ^{注1}			②療養者数 ^{注2}	③PCR陽性率 ^{注3}	④新規陽性者数 ^{注4}	⑤感染経路不明割合
	入院医療		重症者用病床				
ステージⅢ の指標	確保病床の使用率 20%以上	入院率 40%以下	確保病床の使用率 20%以上	20人 /10万人以上	5%以上	15人 /10万人/週以上	50% 以上
ステージⅣ の指標	確保病床の使用率 50%以上	入院率 25%以下	確保病床の使用率 50%以上	30人 /10万人以上	10%以上	25人 /10万人/週以上	50% 以上

各ステージで講ずべき施策等については、「[令和3年4月15日新型コロナウイルス感染症対策分科会提言（外部サイトへリンク）](#)」をご覧ください。

表 1

仙台市の感染状況・医療提供体制の状況

区分	感染状況指標	(令和3年4月19日 ～ 令和3年4月25日)	現在の数値 (令和3年4月26日～ 令和3年5月2日)	ステージⅢ の指標 (※2)	ステージⅣ の指標 (※2)
感染 の 状況	① 1週間の総陽性者数	133人	106人		
	② 人口10万人あたりの 週間発生報告数	12.2人	9.74人	15人	25人
	③ 直近1週間／先週1週間の 陽性者数比	0.57	0.8	—	—
	④ 新規陽性者数(※1)	19.0人	15.1人	—	—
	⑤ 新規陽性者数における 接触歴等不明者数(※1)	10.1人	9.9人	—	—
	⑥ 感染経路不明割合(※1)	48%	65%	50%	50%
	⑦ 検査の陽性率	5.3%	7.9%	5%	10%
医療 提供 体制	⑧ 入院患者数	75人 (4月29日時点)	71人 (5月6日時点)	—	—
	⑨ 重症患者数	7人 (4月29日時点)	5人 (5月6日時点)	—	—

※1 ④⑤⑥⑦は7日間移動平均で算出、⑥は陽性者公表時点の数値

⑦は、仙台市衛生研究所の検査件数と医療機関等で実施した保険適用される検査件数を合算した件数で算出（令和3年5月3日24時時点）

※2 指標：令和3年4月15日新型コロナウイルス感染症対策分科会提言

表2 【参考】
宮城県の医療提供体制状況（令和3年5月7日公表）※宮城県記者発表資料より

＜全県の受入可能病床の状況＞

＜仙台医療圏の受入可能病床の状況＞

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	217床	22床
入院者数 (使用病床数)	117人	8人
使用率	53.9%	36.4%

	受入可能病床	
	全入院者	うち重症者
受入可能病床数	118床	14床
入院者数 (使用病床数)	80人	7人
使用率	67.8%	50.0%

※受入可能病床・・・対応人員や入退院の状況により実際に各医療機関が当日に受入可能な病床
(5月7日15時時点)

(1) 業種・業態の公表等

令和3年4月26日～令和3年5月2日

番号	公表日	施設の業種・業態等
3-64	4月26日	専門サービス業
3-65	4月27日	情報サービス業
3-66	4月28日	情報サービス業
3-67	4月29日	高齢者施設

※クラスターと判定される前に公表に至った事例を含みます。

※宮城県と共同で策定した新型コロナウイルス感染症拡大防止のための市民への情報提供（呼びかけ）を行う基準に基づき、施設の業種・業態、また、施設内の状況で感染拡大に影響があると推測される事項について情報提供、注意喚起を行っております。

(2) クラスタ発生日及び施設の業種・業態等
令和3年4月26日～令和3年5月2日

番号	発生日	施設の業種・業態等
3-64	4月26日	専門サービス業

※クラスタ発発生施設

同一の場において、5人以上の感染者の接触歴等が明らかとなっていることが目安とされています。

※クラスタ発生日

クラスタ発発生施設において、接触歴等が明らかとなっている5人以上の患者が発生した日

◎感染拡大につながったと考えられる感染リスク

- ・マスクを着用せずに、十分な距離を取らずに会話をしていた。
- ・休憩時に食事を共にする際、会話をしていた。